

仕様書

業務名	放射性物質分析業務（交換性放射性セシウム）単価契約
検体	土壌
検査項目	交換性放射性セシウム（セシウム134、セシウム137）
送付検体量	300g以上
測定時間	12時間以上
検出限界値	3 Bq/kg以下
予定件数	352
分析方法	<p>交換性放射性セシウムの抽出は、乾土に1M酢酸アンモニウム溶液(pH7.0)を10倍量入れ、1時間浸とうし、ろ紙で吸引ろ過後、0.45<math>\mu</math>mのメンブレンフィルターで吸引ろ過することで行うこと。</p> <p>放射性セシウムの分析はゲルマニウム半導体検出器を用い、厚生労働省医薬局食品保険部監視安全課作成（平成14年3月）の「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」第2章2「ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法」に準拠し行うこと。</p> <p>測定時間は12時間以上とし、かつ検出限界値は3Bq/kg以下とすること。ただし、所定の測定時間以上の測定によっても、所定の検出限界値を満たせない場合には、発注者と協議し了解を受けること。</p> <p>※分析値の水分補正の指定がある場合は、分析値に乾土係数を乗じて乾土1kg当たりの含有量として算出する。乾土係数は風乾細土を105℃の乾燥機で24時間乾燥後に秤量して測定する。</p> <p>※乾土係数=風乾細土重/絶乾重</p>
その他	<p>1 分析依頼方法</p> <p>(1) 検体は、発注者が採取し前処理を行った後に1検体ずつビニール袋又は容器に入れ密封する。なお、検体のデータについては、ビニール袋又は容器に直接記入するものとする。</p> <p>(2) 検体は、発注者が運搬業者に依頼し、受注者まで運搬する。なお、運搬にかかる費用は、受注者が負担するものとする。</p> <p>2 成果品履行期限</p> <p>(1) 成果品は、分析結果報告書とする。</p> <p>(2) 各発注検体の履行期間は、受注者が検体を受付した日から発注者が成果品（分析結果報告者）を受付した日までとし、28日以内とする。</p> <p>3 成果品納入場所</p> <p>分析を依頼した成果品は次の場所に納品する。</p> <p>福島県農業総合センター本部（郡山市高倉字下中道116）</p> <p>浜地域農業再生研究センター（南相馬市原町区萱浜字巣掛場45番169）</p> <p>4 分析後の検体処理</p> <p>分析後の検体及びそれに付属するものについては、発注者の分析結果を確認後、具体的な送付内容については発注者と調整のうえ、発注者が指定する運搬業者に依頼し、発注者に送付するものとする。なお、運搬にかかる費用は、受注者が負担するものとする。</p>